

2019年度[一般入学] 学生募集要項

21世紀の「ケア」を科学する STUDY 21st CENTURY OF CARE

社会福祉法人 京都社会事業財団 **京都桂看護専門学校**

募集人員	15名程度(男女)	合格発表	2019年1月11日(金)
修業年限	3年間(昼間・全日制)	学生募集要項の請求方法	学生募集要項等を希望される方は希望書類(募集要項・過去問題)を明記した紙と以下の物を同封のうえ請求してください。
応募条件	学校教育法第90条に定める高等学校を卒業している者、または2019年3月末に卒業見込みの者。若しくは、上記と同等の資格を有する者(学校教育法施行規則第150条)で、本校の定める「個別入学資格審査基準」を満たすことを認められた者。		●募集要項のみ 返信用封筒(角2サイズ 〒・住所・氏名明記 205円切手貼付) ●募集要項・過去入試問題とも 返信用封筒(角2サイズ 〒・住所・氏名明記 380円切手貼付)300円分の切手同封(貼付しないこと)
提出書類	『募集要項』に定められた書類		※京都桂病院奨学金他、奨学金制度が利用できます。
願書受付期間	2018年12月4日(火)~13日(木)<必着>		
試験日	2019年1月5日(土)		
試験科目	国語総合および現代文(古文・漢文を除く)、数学Ⅰ、英語Ⅰ、面接(個別)		

お問い合わせ・募集要項請求先は
 社会福祉法人 京都社会事業財団 **京都桂看護専門学校**
 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-14 TEL:075-381-0971
 URL:http://www.katsura-nsc.net E-mail:katsura-nsc@nifty.com

桂・ニュース

KATSURA NEWS

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 **京都桂病院**
<http://www.katsura.com>

12月号

NO.273
 2018・12・1
 毎月1回・1日発行
 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
 TEL075-391-5811代

編集:広報課
 印刷:(有)アクト

京都桂病院ホームページ
<http://www.katsura.com>

主催:京都桂病院 後援:西京区社会福祉協議会

クリスマスコンサート & フリーマーケット 2018

12月15日(土) 午後1時30分~3時30分
 外来フロア1階及び2階及び玄関

看護学生による クリスマスのパフォーマンス	αステーションの仲間達による演奏	特別ゲストを迎えてのクリスマスコンサート
子供たちへ ドーナツのプレゼント	栄養科による 手作りの焼きそば販売	フリーマーケット 2階フロアにて10店舗 (午後1時30分~3時で終了します)

フリーマーケットへの出店を希望される方は、申込書を外来総合受付へお持ちください。 **応募 12月7日(金)まで**

当院からのお知らせとお願い

年末・年始の診察について

休診 12/29(土)~1/3(木)

当院の外来診療は12月28日(金)で年内は終了いたします。年明けは1月4日(金)より通常の診療とさせていただきます。急に体の具合が悪くなった場合は、随時診療させていただきますのでお電話の上、南玄関時間外救急窓口までお越し下さい。

TEL(075)391-5811(代)

病院専用バス時刻表

JR桂川駅前				阪急桂駅前(西口)				
時間	病院発	JR桂川駅発	時間	病院発	JR桂川駅発	時間	病院発	桂駅(西口)発
月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日	月~金曜日
7時	30	00 55	12時	20	40	7時	10 45	25
8時	30	50	13時	20	40	8時	20	00 35
9時	20	40	14時	20	40	9時	10 40	20 50
10時	20	40	15時			10時	10 40	20 50
11時	20	40	16時	10	40	11時	10 40	20 50
						12時	10 40	40 20 50 50
						13時	10 40	10 40 20 50 20 50
						14時	10 40	10 40 20 50 20 50
						15時	15 50	15 50 25 25
						16時	15 50	00 25 00

※病院発は全て正面玄関発となります。
 ※土・日・祝日は運休となります。

※〇は、病院正面玄関発となります。
 ※□は、病院南玄関発となります。
 ※土・日・祝日は全て南玄関発となります。

※送迎バスののりば:桂駅西口
 ※送迎バスののりば:桂駅西口
 ※送迎バスののりば:桂駅西口
 ※送迎バスののりば:桂駅西口

冬場の呼吸器疾患

●冬場には、風邪、インフルエンザ、肺炎などの様々な呼吸器症状を伴う感染症が蔓延しやすくなり、それに伴い、喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD、いわゆる肺気腫)、間質性肺炎などの慢性呼吸器疾患の急性増悪が増加します。

●インフルエンザや肺炎球菌のワクチンは、接種してもそれらの発病を完全に予防することはできませんが、重症化する割合を低くする効果が期待できます。

呼吸器センター
 呼吸器内科 部長
西村尚志

※冬季は呼吸器感染症・慢性呼吸器疾患の急性増悪が増える!
 冬には、気温が低くなり空気が乾燥し、気管支やのどの粘膜がデリケートになり、ウイルスや細菌などによるかぜ症候群(いわゆる「かぜ」のことです)、インフルエンザ、気管支炎、肺炎といった呼吸器系の感染症が増加します。またこれらによって、元々ある喘息やCOPD、間質性肺炎といった慢性的な呼吸器疾患が急に悪くなること(急性増悪と言います)も増加します。

これらを100%予防することはできませんが、うがいや手洗いの励行、無用な人混みへの外出を避ける、調子が悪いと感じれば早目に診療所や病院を受診する、といった誰でも知っていることの地道な積み重ねが発症や重症化の予防に重要です。マスクの感染予防に対する効果は限定的ですが、自分が病気になった場合に咳やくしゃみに伴う飛沫の飛散を防ぐ効果があります。

※かぜ症候群
 急性の上気道炎症の総称で、いわゆる「かぜ」とほぼ同じ意味です。症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳、痰などの呼吸器症状が主ですが、発熱、食欲低下、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛などもよく見られ、時に吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。ライノウイルス、アデノウイルス、パラインフルエンザウイルス、RSウイルスといったウイルスが主な病原体であり、ウイルスには抗菌剤は無効なので、治療としては安静や対症療法(症状を抑えることを目的とする治療)が中心となります。多くは1週間程で症状はほぼ消失しますが、咳がかなり長引くことがあります。また、抵抗力の落ちた状態の患者ではかぜ症候群をきっかけに全身状態が悪化する危険性があります。

※インフルエンザ
 インフルエンザウイルスが原因であり、症状はかぜ症候群と同様ですが、高熱や関節痛などの全身症状をきたすことが多く、高齢者や基礎疾患のある患者では重症化することがあります。治療としては、安静、対症療法以外に、発症後48時間以内であればウイルスの増殖を抑える薬(タミフル、リレンザ、イナビル、ラピアクタ、ゾフルーザ)を使用することにより、発熱などの症状のある期間を短かくして重症化する割合を低くする効果が期待できます。

インフルエンザワクチン接種でも完全にインフルエンザに罹患することを防ぐことはできませんが、罹患する可能性を低くし、重症化する可能性を低くすることが期待できます。65歳以上の高齢者や様々な合併症を有してインフルエンザに罹患すると重症化する危険性が高い人達やそのような方々と接触する機会が多い人達には年に1回のワクチン接種が推奨されます。

※肺炎
 様々な細菌やウイルスなどが病原体となりえます。肺炎球菌、インフルエンザ菌、マイコプラズマが原因菌の中では多いですが、血液、尿、喀痰検査をしても原因菌が判明しないことが多いです。症状はかぜ症候群とほぼ同様でそれだけでは区別はできません。

治療としては、細菌性肺炎では抗菌剤投与が中心となります。軽症であれば外来で治療します。酸素吸入や点滴治療が必要な場合には入院が必要となることもあります。高齢者や合併症を有する患者では重症化することもあり、時には致命的になりえます。2017年のデータでは、肺炎は日本人の死因で5番目に多く、7.2%を占めています。男性では4番目に多い死因となっています。

高齢者の場合、入院をきっかけに筋力が低下して足腰が立たなくなったり、認知症症状が出現増悪することもあり、肺炎は治っても元の日常生活に戻れず、介護を必要とする場合も少なくなく、入院期間をできる限り短くして早期からリハビリテーションを依頼するようにしています。

細菌性肺炎でもっとも頻度の高い起炎菌は肺炎球菌であり、肺炎球菌ワクチン接種により、肺炎球菌による肺炎の発症の可能性や重症化する可能性を低くする効果が期待できます。65歳以上の高齢者や様々な合併症を有している人達は、肺炎が重症化する危険性が高く、またインフルエンザと肺炎球菌とが同時に感染を起こすと重症化の一つの要因と考えられ、両方のワクチン接種が推奨されます。高齢者肺炎球菌ワクチンは2014年10月から5歳刻みで定期接種となっています。